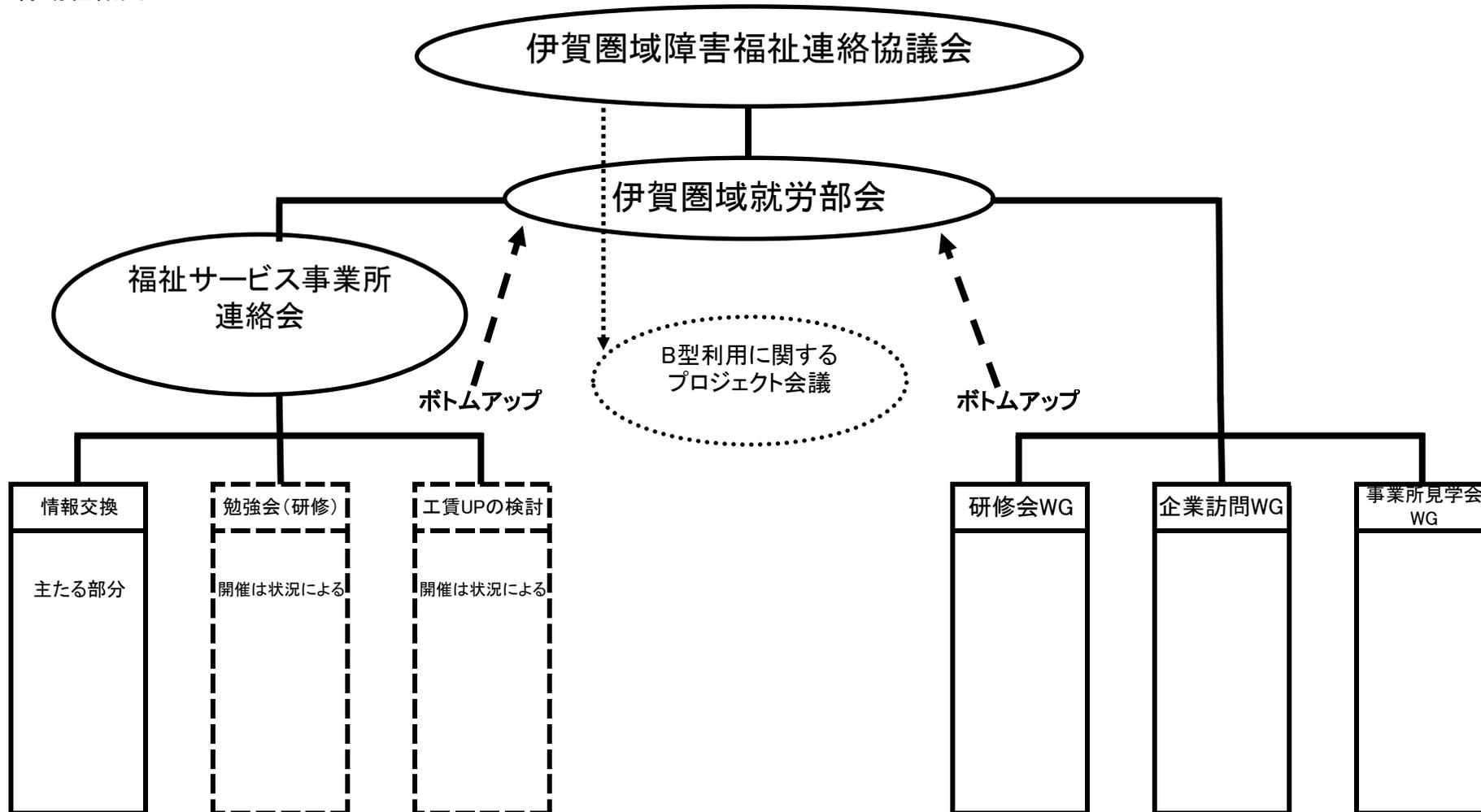


4 会議内容と開催予定

目的	取り組みの内容	会議名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
① 総括	情報共有・WG進捗確認	伊賀圏域就労部会	●				●				●			●
② 雇用の促進	障害者雇用の啓発と促進	雇用啓発・促進に関する検討会議				●				●			●	
③ 人材の育成	情報交換	福祉サービス事業所連絡会			●				●			●		
④ 雇用の促進	研修会の企画・実施	研修企画ワーキング	随時開催											▶
⑤ 雇用の啓発	事業所見学会の企画・実施	事業所見学会企画ワーキング	随時開催											▶
⑥ 雇用の促進	企業訪問による雇用促進	企業訪問ワーキング	随時開催											▶
⑦ システムの構築	B利用に関するシステム構築と稼働	B型利用に関するプロジェクト	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

5 稼働組織図



【案】平成26年度 就労部会体制(伊賀圏域)

1 目的の設定

就労ステージ(雇用と就労福祉サービス)での環境を整え、社会参画がしやすい地域を構築していく

2 平成25年度の反省(成功事項・失敗事項・課題事項)

①成功事項

- 伊賀圏域として名張市・伊賀市の目的意識が共有され、連携が強化された。一体感の中で実務作業を行うことができた。
- ワーキングでの取り組みがタイムリーで決定がスムーズであった。
成果→【研修会】:100名の参加者と企業50社の参加実績・【企業訪問】:ワーキングを4チームに分けて訪問。企業36社の訪問実績
- ボトムアップの会議ができた。
- ハローワーク伊賀が主催した「就職面接会」と「就職説明会」を伊賀圏域就労部会と協同連携した結果、就労実績と体験実習が増えた。
成果→【伊賀圏域障害者就職説明会】:15名が繋がった・【就職説明会】:雇用率未達企業に4名が実習に繋がった。
- 伊賀圏域障がい者就業・生活支援センタージョブサポートハオを伊賀圏域の就労支援中心機関として位置づけ、伊賀圏域就労部会と連携を行い、就労実績や定着支援の調整を行った。
成果→ハオ支援における就労実績:40名

②失敗事項

- 名張市・伊賀市・圏域のそれぞれで部会会議が開催されたことにより、参画者の業務量が増えた。

③課題事項

- 伊賀圏域・伊賀市・名張市がそれぞれ部会開催を行っているため、重複して参画する関係者の業務圧迫が発生した。
- 伊賀市・名張市で同じような取り組み企画があり、ご案内した事業所より不満の声があった。

3 平成26年度について

【方向性】

上記、平成25年度の成功内容と持ち越した課題を受けて、名張市、伊賀市でそれぞれで開催されていた部会の活動及び会議を整理して、平成26年度においては、伊賀圏域での部会を中心とした、会議体と実働体に整理していきたい。

よって、平成26年度は、下記4・5の内容にて実施していきたく提案致しますので、ご検討を宜しくお願い致します。

6 主な取り組みno内容

会議名	いつ？(開催頻度)	誰が？(参画者・リーダー・副リーダー)	何を？どうする？(目的・取り組み内容)	経費
1. 伊賀圏域就労部会	年4回開催	部会長: 川田氏(ジョブサポートハオ) 副部会長: (構成メンバー) 事務局: 伊賀保健所	・全体を総括する ・情報を共有する ・課題を検討する	必要なし
2. 福祉サービス事業所連絡会	年3回開催	リーダー: 副リーダー: (構成メンバー) 事務局: 伊賀保健所	・福祉サービス事業所の連携を深める	必要なし
3. 雇用啓発・促進に関わる会議	年3回開催	会長: 川田氏(ジョブサポートハオ) 副会長: (構成メンバー) 事務局: 伊賀保健所	・ワーキングの進捗状況を管理する ・障害者雇用を推進する ・障害理解を啓発する	必要なし
A 研修会ワーキング	随時開催	リーダー: 副リーダー: (構成メンバー)	・研修会を企画・実施する	必要あり ・講師料(交通費込み) ・郵送費(案内送付等) ・昼食費(前回は講師様自費)
B 企業訪問ワーキング	随時開催	リーダー: 副リーダー: (構成メンバー)	・企業訪問を行う ・企業訪問の手法を検討する	必要なし
C 事業所見学会ワーキング	随時開催	リーダー: 副リーダー: (構成メンバー)	・事業所見学会を企画・実施する	必要あり ・郵送費(案内送付等)
4. B型利用に関するPJ会議	毎月開催	リーダー: 奥西氏(ふっくりあ)【未定】 副リーダー: 杉田氏(伊賀つばさ学園)【未定】 (構成メンバー) 事務局: 伊賀保健所	・課題を検討する ・課題を分析する ・利用の流れを整理する	必要あり? ・資料等に関わる作成費?

